



## 3学期 元気にスタートしました！

3学期が始まってから15日ほど経ちました。子どもたちは、さまざま活動を行い、楽しく過ごしています。

### 1月9日 3学期初日 一斉下校



全校の子どもたちの「さようなら」の言葉が、校庭中に響いていました。

### 1月12日 縦割り遊び



サークルドッジボールの様子です。たくさんの人数でのドッジボールは、とても楽しそうでした。

### 1月12日 5, 6年「陶芸教室」



横田先生を講師にお招きし、5年生と6年生が図工の時間に、それぞれ2時間ずつ「陶芸教室」を行いました。最初、横田先生に、学校にある「ろくろ」を使用しての器作りを実演していただきました。子どもたちは、職人の技に見とれていました。後半は、各自「板作り」や「ひも作り」で作品を作りました。

### 1月17日 5年「SOSの出し方教育」実施

スクールカウンセラーの小保方先生から、SOSの出し方について学びました。自分でストレスを解消することが難しいときは、周りの人に話をすることが大切であると、教えてくださいました。相談することは勇気がいるので、「あのう、少し話をしてもよいですか」というように、話し始めに、『あのう』を言うとよいと、秘策を教えてくださいました。「あのうって言うと、たとえ相手が忙しくしても、気づき、相談に乗ってくれます」と、助言をしてくれました。また、「信頼できる人に相談すること」「思いを言葉にすると、自分の頭の中が整理されること」も、教えてくださいました。子どもたちは、終始真剣に小保方先生の話に聞き入っていました。



### 1月17日 6年「薬物乱用防止教室」実施

更生保護女性会の13名の皆様が来校してくださり、子どもたちに「たばこの害」について詳しくお話をしてくださいました。体に害があることのほかに、「よりよく生きようという考えを奪ってしまう」と、熱く語ってくださいました。子どもたちは、真剣に話を聞き、質問にも積極的に挙手をして答えていました。「たくさん意見を言って、立派な6年生ですね」と、皆様にお褒めの言葉をいただきました。



裏面もあります。

## 1月16日 4年「餅つき体験」実施

4月から行ってきた「米作りに挑戦」の学習の仕上げとして、臼と杵を使用して、昔ながらの餅つき体験を実施しました。5月にあぜぬりと田植え、9月に稲刈り、10月に脱穀、11月に粳すり、12月に精米をして、44kgのもち米ができました。餅つきの前日に、4年生はもち米を研いだり、必要な道具を準備したりしました。当日は、2升のもち米を使用して餅つきを行いました。雪の降る寒い日でしたが、ボランティアの皆様と保護者の皆様のご協力のおかげで、4年生は、一人一人餅つきを体験したり、きな粉餅やのり餅にして、つくたてのお餅を食べたりしました。子どもたちは、「つくたてのお餅はもちもちしてとってもおいしい」「一年の中で、この雪の降る特別な日に餅つきができて、忘れられないよい思い出になった」など感想を話し、大変満足そうでした。また、香雲堂さんをお願いして、もち米から豆大福を作っていただきました。たくさんの皆様のご協力により、米作り体験・餅つき体験ができました。本当にありがとうございました。



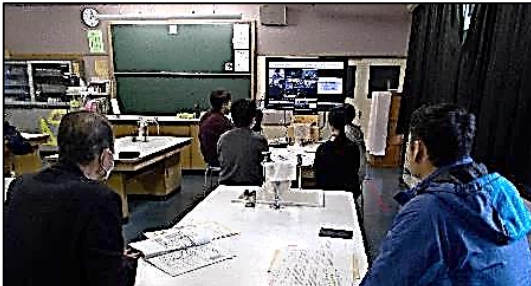
かまどを使用して、もち米を蒸かしました。



「杵が重くて難しい」と、子どもたちは話していました。

## 1月22日「桐生市いじめ防止子ども会議」に参加

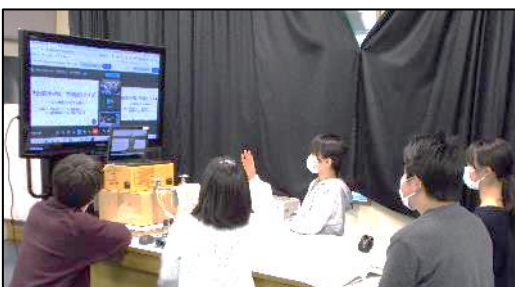
テーマ「互いを大切にし、助け合える人間関係をつくるために、私たちにできること」に関わる取組を、各学校ごとに発表しました。梅南小は、「あいさつ運動」「運動会 二学年競技」「縦割り活動」の3つの取組を、チームワークよく発表しました。他校のみなさんから、運動会の種目『おさるのかごや』『僕と君の間に』はどんな競技なのかと、質問がありました。突然の質問であったにも関わらず、堂々と分かりやすく説明することができました。他校の取組についても、進んで質問をして、大変立派でした。



児童会代表の5年生2名、6年生2名の子どもたちと学校職員2名のほかに、青少愛会長大澤様、PTA副会長稲垣様も参加しました。



会を始める前に、レクを行いました。内容は、画面の写真の中で少しずつ変わっていくものを探すことでした。なかなか難しく、子どもたちは、画面を凝視していました。



「テーマに対して一番有効だったものは何ですか」と、教育委員会の方より質問がありました。「梅南小で一番有効だった取組は、縦割り活動です」と答え、その後、理由も言えて、とても立派でした。



最後に、PTA副会長稲垣様より、励ましの言葉をいただきました。「いじめをなくす」ためには、「話し合えることが、まずスタートラインである。意見を言い合えること、気持ちを伝えることが大事。これらの活動を続けていってほしい」との言葉に、「これからも頑張るぞ!」と、子どもたちも職員も、気持ちを引き締めました。終了後、青少愛会長大澤様からも、「立派でした。梅南小の子どもたちは、よくあいさつをしてくれます」と、お褒めの言葉をいただきました。